


平成 27 年度 財団せせらぎ 助成金使用報告書

所属	総合研究大学院大学	職名	博士課程 2 年	助成金額	400,000 円
氏名	星野麗子 	メール アドレス	r.hoshino.s@gmail.com		
研究課題（申請書に記入した内容を記入すること。）					
人類学的研究における観光モデルの提案——中国の二つの客家地域を事例に——					
助成金使用実績の概要（日本語で記入すること。図・グラフ等の記載は必須ではない。）					
<p>本研究の目的は、漢族サブエスニック・グループ (sub-ethnic group) 客家を研究対象に、研究者、地元知識人、観光業者、現地人等が近年、どのような社会背景の中で客家をテーマとした観光開発に取り組んできたのか、その過程を具体的に明らかにすることである。本研究の狙いは、報告者がこれまで調査を行ってきた江西省（贛州市興国県梅窖鎮三僚村）と四川省（成都市龍泉驛区洛帶鎮）の二つの客家地域の観光化の事例を通して、観光立国としていち早く取り組んできた、中国の「ホスト」社会としての特徴を浮かび上がらせることである。</p> <p>このような研究目的を達成するため、2015 年 9 月以降、研究助成金を使用して以下のような調査研究を実施した。</p> <p>1)、文献調査の収集・整理（2015 年 9 月～2016 年 9 月：国立民族学博物館、四川大学） 文献調査は、①江西省と四川省の客家に関連する歴史文献資料、②1990 年代以降出版された客家研究書、③近年刊行された論文集や雑誌等を収集して行った。これにより、江西省と四川省の客家に関する歴史記述や両地域の関係性、近年の客家をテーマとした観光開発に関して、詳細な資料を整理できた。本研究の一部は、報告者が在籍する総合研究大学院大学の授業の一環である「リサーチ・プロポーザル」において発表し、文章として提出した（2016 年 1 月 14 日）。</p> <p>2)、現地フィールド調査（2016 年 9 月 3 日～18 日：四川省成都市） 四川省の客家地域で現地フィールド調査を行った。「西部客家第一鎮」として近年観光開発が著しい四川省成都市郊外において、客家文化の内容や観光化の動きに関して、参与観察と聞き取り調査を実施した。また、観光地化されていないが、客家と称される周辺地域においても、客家文化や客家語、観光開発の様子やその後の変化に関して聞き取り調査を行った。観光を積極的に推し進める人々の視点を、社会的文脈から理解する手掛かりとなった。</p> <p>以上の調査研究の遂行のために、使用した助成金の内訳の概要は、次の通りである。 ①文献資料の購入・コピー代（英語、日本語、中国語）、②文献収集のための旅費・交通費、③現地調査費（渡航費、宿泊費、現地交通費、謝礼金など）、④調査に必要な機材（カメラ、IC レコーダー等）の購入に使用した。</p> <p>今後は、これらの研究成果を論文などとしてまとめ、発表していく計画である。</p>					
助成金を使用した成果に関する発表（インターネットに公表されている場合は URL を記載すること。）					
発表者氏名 (著者・講演者)	発表課題名 (著書名・演題)	発表学術誌名 (著書発行所・講演学会)	学術誌発行年月 (著書発行年月・講演年月)		